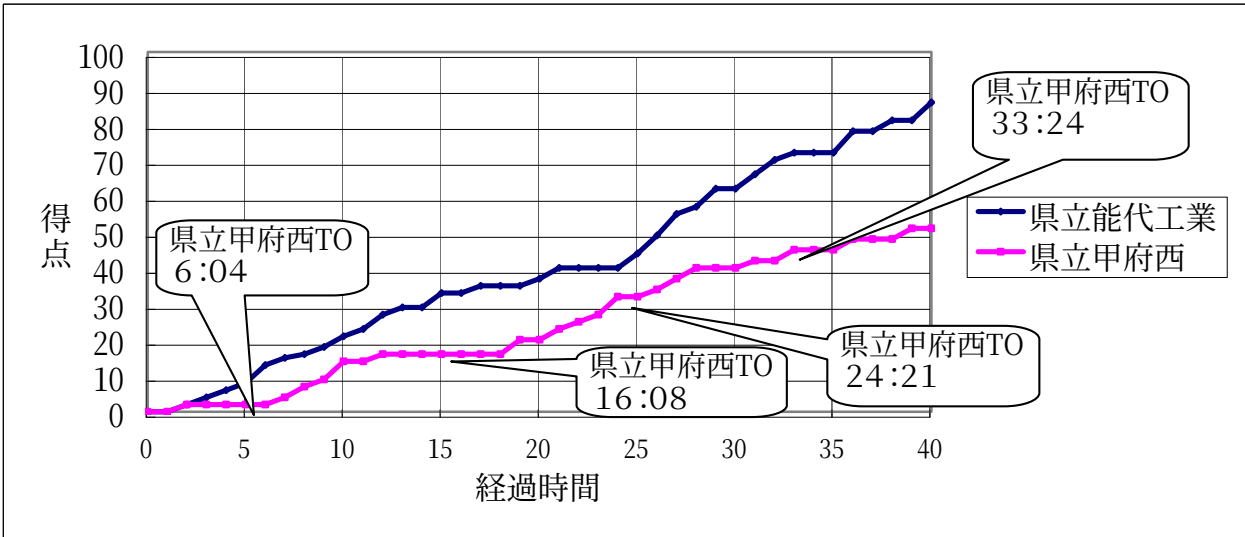


大会名	平成19年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会第60回全国高等学校バスケットボール選手権大会	E1	9:30	男子 1回戦
期日	2007年（平成19年）7月29日（日）	県立能代工業	86	21 — 14 16 — 6 25 — 20 24 — 11 — 51 ● 山梨
会場	唐津東高等学校	秋田	○	

主審 山崎 誠二

副審 福島 孝生



県立能代工業

	No.	氏 名	点	3P	2P	FT	F
◎	4	渡部 敬祐	7	1	2	0	0
○	5	満原 優樹	17	0	8	1	0
○	6	高橋 健太郎	27	0	13	1	0
○	7	長谷川 技	5	1	1	0	2
○	8	高橋 陽	16	4	1	2	0
	9	宮川 光	6	0	3	0	0
	10	館山 健太	3	1	0	0	0
	11	石川 朝	0	0	0	0	0
	12	荒生 純平	5	0	2	1	0
	13	伊藤 伸高	0	0	0	0	0
	14	小川 昌志	0	0	0	0	0
	15	武藤 修平	0	0	0	0	0
	16						
	17						
	18						
コーチ		加藤 三彦					
		合計	86	7	30	5	

県立甲府西

	No.	氏 名	点	3P	2P	FT	F
	4	佐瀬 良樹	3	1	0	0	3
	5	小澤 宏成	0	0	0	0	2
◎	6	大山 耕治	8	0	4	0	3
○	7	小川 智也	26	8	1	0	0
○	8	込山 光太郎	6	0	3	0	0
	9	山本 健	0	0	0	0	0
	10	長谷川 智弘	0	0	0	0	0
○	11	松永 光貴	2	0	1	0	4
	12	長田 泰馬	0	0	0	0	0
	13	田中 新	0	0	0	0	0
○	14	清水 湧	6	0	3	0	2
	15	坂上 将太	0	0	0	0	0
	16						
	17						
	18						
コーチ		逆瀬川 慶浩					
		合計	51	9	12	0	

○はスターター ◎はキャプテン) 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦 評

4年ぶりの栄冠をめざす古豪の能代工業高校、対する#6大山を中心にした甲府西高校の対戦となったが86対51で能代工業が勝利した。第1P甲府西ハーフコートマンツーマン、対する能代工業2-3ゾーンでスタート。能代工業#6高橋のリバウンドシュートが決まりだし、甲府西も激しいディフェンスから追い上げるが、能代工業が高さでリバウンドを制し徐々に点差を広げて21対14で第1Pが終了する。第2P甲府西は能代工業#6高橋に対してダブルチームで激しくディフェンスを行う。しかし、果敢にレイアップシュートを決め、#5満原のミドルシュートが決まり徐々に点差を広げて33対16となる。残り4分甲府西タイムアウトを請求し流れを変えたいところである。しかし、能代工業のディフェンスを破ることができない。残り1分で甲府西#6大山のシュートが決まる。対する能代工業#6高橋のリング下シュートが決まり37対20で第2P終了する。第3P開始早々能代工業#8高橋の3Pが決まる。甲府西#7小山のお返しとばかりに3Pが決まる。甲府西の激しいディフェンスからの速攻、甲府西#7小山の3Pで27対40となる。その後、10点差となったところで甲府西タイムアウトを請求する。能代工業は#8高橋、#6高橋のフリースローが決まる。また#5満原のミドルシュートなどで点数を離していく。対する甲府西は#7小山の3Pで追いつくが62対40の18点差で終了する。第4P、能代工業#6高橋のミドルシュート、#5満原のミドルシュートが決まりだし開始4分で45対72となる。能代工業はオールコートディフェンスを展開し速攻とセットプレイで得点を重ねていく。甲府西も#7小山の3Pシュートで対抗する。しかし能代工業は残り2分オールメンバーチェンジをする余裕で86対51でゲーム終了となる。

記載者

中島義孝

所属) 佐賀県バスケットボール協会